

職員による自己評価

A 環境面

- ・子ども達の成長やコロナ渦の中では適正なのかなんともいえない。

B 児童への支援内容

- ・コロナ渦もあり、外部研修等の参加が減っている。
- ・計画書をもとに支援やプログラムの実施を行う事が出来ている。

C 関係機関との連携

- ・コロナ渦もあり、関係機関との情報共有する機会が減っている。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・送迎時や電話連絡等で必要に応じた説明等は行なえている。
- ・コロナ渦でもあり、保護者会やイベントの開催が出来ていない。

E 非常対応

- ・マニュアルの更新を行いながら、状況に応じた対応が出来るようにしている。

保護者による評価

A 環境面

- ・適正なスペースがわからないからなんともいえない。
- ・適切な環境ではあると思う。

B 児童への支援内容

- ・新たなプログラムの計画等が出来ている。
- ・障害のない子との関りは難しいと思う。

C 事業所からの情報発信

- ・コロナ渦でもあり、保護者会の開催が出来ていない。
- ・保護者等に周知や説明がどこまで出来ているか分からない。

D 非常対応

- ・緊急時のマニュアルは概ね出来ていると思う。

E その他

- ・交通事情はあると思うが、たまに送迎時間がルーズになっている気がする。
- ・出来れば送迎してもらえるようになって欲しい。

事業所内での分析

【共通点】

- ・児童への支援はプログラムをもとに適正に行えている。
- ・コロナ渦もあり、保護者会やイベントが開催出来ていない。
- ・障害のない子との関わりを持つ事が出来ていない。

【相違点】

- ・特になし

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・個別支援計画書に基づいて支援出来ており、新たな活動プログラムを日々検討している。
- ・ご家族からは子どもたちに楽しく利用しているので安心している等の意見を聞く事が出来ている。

事業所の改善点

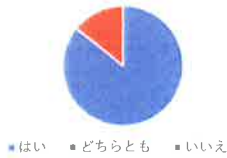
- ・環境面での見直し。
- ・交流会等の行事の再開の検討。
- ・研修等の参加に向けて検討。

事業所の改善への取り組み

- ・ソーシャルディスタンスの観点も含めて、スペース確保出来るように配置を活動等にあわせて見直して安全安心の環境を作っていく。
- ・コロナウィルス状況情報を確認しながら、行事实施方法を検討して開催出来るようにしていく。
- ・職員のスキルアップに繋がるように研修参加の機会を増やしていく。

2021年度 放ディよこはまりバーサイド泉Ⅲひまわり 評価結果

①子どもの活動等スペースが十分に確保されているか、



②職員の配置数や専門性は適切であるか。



③事業所設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか



④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等ディサービス計画が作成されているか



⑤活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか



⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか



⑦支援内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされているか



⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか



⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか



⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか



⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を設備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか



⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか



⑬定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか



⑭個人情報に十分注意しているか



⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか



⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか



⑰子どもは通所を楽しみにしているか



⑱事業所の支援に満足しているか



